



草津東高等学校図書館
本derful!委員 発行
<2019. 3. 15>
3月号 NO. 2
学校ホームページ版

草津東高校貸出ベスト

[貸出統計 2018.4.1~2019.2.28]

<小説部門>

- ①『君の臍臓をたべたい』 住野よる：著 双葉社
- ②『かがみの孤城』：著 辻村深月 ポプラ社
- ③『青くて痛くて脆い』 住野よる：著 KADOKAWA

<マンガ部門>

- ①『約束のネバーランド』シリーズ 白井カイウ：原作・出水ぽすか作画 集英社
- ②『はたらく細胞』シリーズ 清水茜：著 講談社
- ③『虹色デイズ』シリーズ 水野美波：著 集英社
- 『ハイキュー!!』シリーズ 古舘春一：著 集英社

<ノンフィクション・実用書部門> *大学入試過去問題集、英検問題集を除く

- ①『金谷の日本史「なぜ」と「流れ」がわかる本 中世・近世史』 金谷俊一郎：著 ナガセ
- ②『やっておきたい英語長文500』 杉山俊一：著 河合出版
- ③『今すぐ役立つ韓国語の日常基本単語集』 石田美智代：著 ナツメ社

春休み特別貸出実施中！今借りると、返却期限日は4月10日(水)

★★春休み中は休館です★★ 休み前にいっぱい借りてね♪



話題の本 置いていきます

<映画原作本より>

☆諸事情で引っ越し先を探していた志織は、何軒か断られた後、とあるマンションに入居する。そこには不思議な住人がいて・・・。

『九月の恋と
出会うまで』

松尾由美：著
双葉社・双葉文庫

☆なげやりに生きている僕のクラスには入院したままの少女が在籍する。余命わずかな彼女に叶えたい事があると知った僕は、それを手伝いたいと思ひ始め・・・。

『君は月夜に光り輝く』

佐野徹夜：著 KADOKAWA
メディアワークス文庫

<講演集計結果>

- 1.良かった 358人
- 2.やや良かった 269人
- 3.やや良くなかった 34人
- 4.良くなかった 2人

<2019年本屋大賞ノミネート10作品、あります>

- ①『愛なき世界』(三浦しをん：著) / ②『ある男』(平野啓一郎：著) / ③『さざなみのよる』(木皿泉：著) / ④『そして、バトンは渡された』(瀬尾まいこ：著) / ⑤『熱帯』(森見登美彦：著) / ⑥『ひと』(小野寺史宜：著) / ⑦『ひとつむぎの手』(知念実希人：著) / ⑧『火のないところに煙は』(芦沢央：著) / ⑨『フーガはユーガ』(伊坂幸太郎：著) / ⑩『ベルリンは晴れているか』深緑野分：著

*掲載は書名の五十音順。本屋大賞の発表は4月です。

☆読書関連行事の受賞紹介☆

<校外読書感想文コンクール>

本校の生徒作品が、「第38回全国高校生読書体験記コンクール」中央選考委員会に入選しました。

この入選に伴い、学校賞として『集英社国語辞典』1冊が公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会より学校宛に贈呈されました。

入選おめでとうございます！

あなたはどっつ読んだ?

3学期読書課題

『ハーバードでいちばん人気の国・日本』

佐藤智恵／著 PHP新書

【一、二年生提出ワークシート記入例より】

第二章 オペレーション・世界が絶賛した奇跡のマネジメント

『新幹線お掃除職』は日本の誇りだ

①本文より、矢部輝夫さんが「人間」ここでは「従業員」を大切にしている「リーダー」であることが分かる内容をまとめなさい。

- ・足繁く現場を見て回った
- ・従業員の不満や提案を「価値ある助言」として聞き入れたこと
- ・自ら現場の一員となり現場の問題を率先して解決する
- ・仕事の価値を「再定義」することでもやる気を高めさせた

②あなたが思う「人間を大切にしているリーダー」に必要なものをまとめなさい

- ・周りの意見も反映できる力
- ・周囲の意見に耳を傾けて最善策に近いものを導き出す力
- ・互いを尊重できる人間関係を築き上げ、一体感を生み出す力
- ・人がどう思っているかをすぐに気付く、親身になって対応する事
- ・命令するのではなく互いに意見を出し合って実施できる能力
- ・程よく謙虚であること
- ・一人一人の個性を引き出すこと
- ・間違いを正すときに何がどう間違っているかや改善法などとも言えること、褒める場面ではしっかりと褒めること
- ・視野が広いこと

なぜトヨタは圧倒的に強いのか

①本文を読み、あなたがこの問いであると考えた内容を、『従業員のマイノリティ』の点からまとめなさい。

- ・「五回のなぜ」や「カイゼン」により従業員が積極的に問題解決に参加し、一人一人が問題解決能力を持つようになるから
- ・どうしたら良いかを全員で考え、リーダーが共有しやすい企業文化をつくらせているから
- ・従業員一人一人が毎日仕事をしながら何が改善できるかを考え、それが仕事に意味と誇りを与えているから

第二章～第四章

興味のあるトピックを読み、その題材がハーバードの授業で取り上げられている理由を述べなさい。

＜第二章＞明治維新と岩崎弥太郎…「政府と企業の成長との関係」「起業家としての原動力」「明治維新と経済成長」の三つについて学べるから。岩崎弥太郎の生き方が今の時代の若者にとってもロールモデルとなるため。

＜第三章＞日本の金融政策…奇跡的な復興と、長期にわたる経済停滞の両方を経験しているのは日本だけであり、他の国も参考にすべきところが多々あったから。

＜第四章＞ANAのグローバル戦略…教材の少ないアジア系企業であること、新路線の開拓など議論が盛り上がりそうな具体的課題があること、最高のサービスを誇っているのに世界ではあまり知られていないというギャップの面白さがあること。

(*ほかにも様々な事例が記入されていました)

第五章 リーダーシップ-日本人リーダーのすごさに世界が驚いた次のそれぞれの事例において、日本人のどのようなリーダーシップが評価されているか。

楽天が断行した社内英語公用語化

・英語化の変革が難しい日本で一気にやり遂げたこと

トルーマンと原爆投下の是非

・昭和天皇は日本国民の命を救うことだけを考えて戦争終結を決断(人道的リーダー)

福島第二原発を救った「チーム増田」

・危機の真つただ中において、置かれた状況を能動的に観察、理解しようとしたこと(センスメーカー)。またそれを現場の作業員と共有したこと

☆あなたが考える日本の強み・弱みは何か。

強み

- ・相手にとって何が喜ばれるか考えることができるおもてなしの姿勢
- ・治安が良い
- ・目の前にあるものを改善することが得意
- ・細部にまでこだわる精神
- ・教育水準が高い
- ・インフラが他国より優れている
- ・昔からの知識・教訓・伝統を活かせる など

弱み

- ・マイナス思考で遠慮しがち
- ・アピールが苦手、自分の意見を言えない
- ・日本が快適すぎてグローバル化が遅れてしまっている
- ・変化に対して極度の抵抗がある
- ・内向き志向
- ・資源が不足 など

☆この本を読んで、あなたの日本に対する見方はどのように変わったか。

私は最初、この本は日本を褒め過ぎだなという印象を持っていた。しかし読みすすめるにつれて日本の良いところだけでなく、客観的に悪いところも見ていて、いつもは生活しているだけでは気付かない日本の強みや誇れることを学ぶことができた。日本のリーダーシップや魅力を文字で具体的に見ることはあまりないので良い経験が出来て良かった。

自分が今まで知らなかった日本の凄さが、この本を読んで知ることができた。特に第二章の堂島米市場についてのトピックは面白かった。世界初の先物市場は日本で始まった、というのは日本人もあまり知らないと思うのに、それをハーバード大学の人が興味をもって学んでいるという事に驚いた。

この本を読んで、僕が一番驚いたのは、自分が当たり前の行動だと思ったことがハーバードで評価されていたことです。自然な行動が評価されるのはとても誇るべきことだなと思いました。また同じ日本人でも、自分たちが将来社会に出たときに人から評価される行動がどのようなものなのかということがわかり、この本を読んで良かったと思いました。

私は、前から日本という国はご飯もおいしく、サービスも充実して素晴らしい国だと思っていました。しかし、この本を読んで、近代にいたるまでのプロセスや改革を行っていくやり方にこそ日本の強みは見えてくるのだと知りました。だから歴史から学ぶことはたくさんあると思いました。

私はこの本を読んで、日本は物事の成功を最優先とするのではなく、人々の気持ちや考えを無視せず取り入れようと努力しているからこそ他国から高い評価を得ているのだと思う。「リーダーシップ」とは単に前に立って指示することだと思っていたが、指示される側と同じ目線に立ち、考えを共有しようという姿勢は日本が誇れることだと感じた。

今回読んでもらった本は「新書」と呼ばれる判型の図書で一般的には約17センチ×10センチサイズ。内容は様々ありますが、多くが時事問題を扱っています。大学入試問題にもよく採用され、大学入学後の就職後にはそれぞれの分野の研究や企画を進めるための参考資料として活用されています。本校の図書館にたくさん所蔵していますので、ぜひ読んでみてください。

